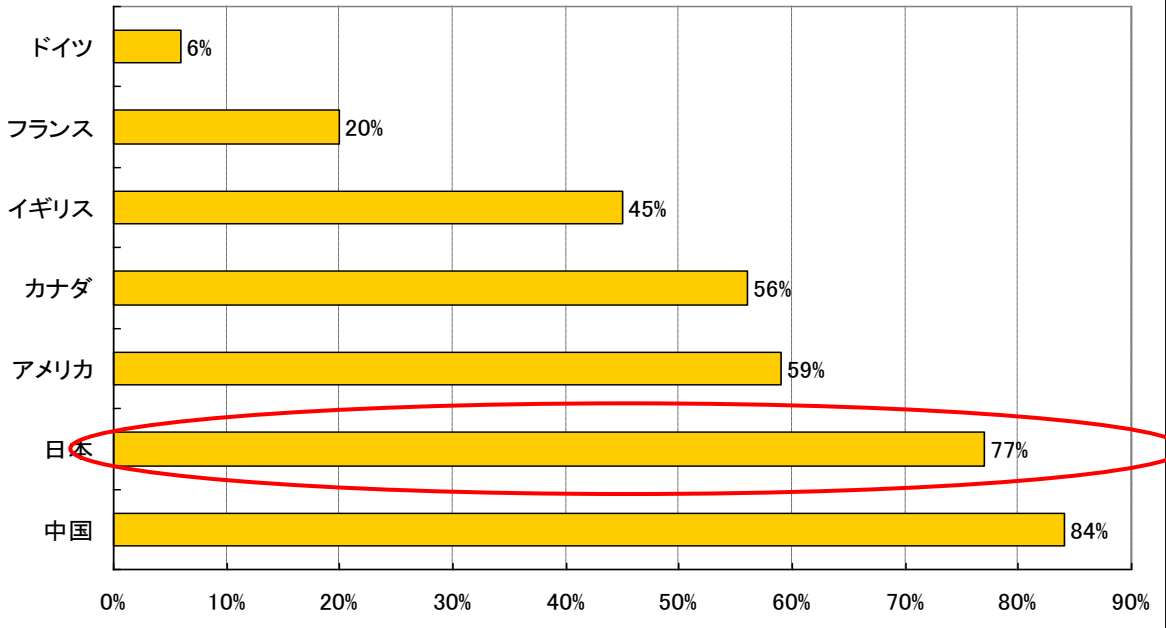


# 各国の失業者に占める失業給付を受けていない人の割合

- ILO(国際労働機関)がまとめた特別報告の一環として実施した調査によれば、失業者に占める失業給付を受けていない人の割合が77%にのぼるとされた。
- 離職による失業者に占める雇用保険受給者比率は、1997年頃には約6割であったが、非正規労働者の増加等を背景に、2008年には約3割に低下した。
- こうした状況を受け、2009年の雇用保険制度改正では、個別延長給付(年齢・地域等を踏まえ、給付日数を60日延長)を創設するとともに、適用範囲を拡大(12か月以上雇用見込み→6か月以上)。また、非正規労働者に対する更なる適用範囲拡大のため、「6か月以上雇用見込み」を「31日以上」に緩和する法案が今国会に提出され、成立したところ。

失業給付を受けていない失業者の割合



(出所) ILO(2009), The Financial and Economic Crisis : A Decent Work Response  
[http://www.ilo.org/public/libdoc/ilo/2009/109B09\\_59\\_engl.pdf](http://www.ilo.org/public/libdoc/ilo/2009/109B09_59_engl.pdf)

※ 中国は2005年、日本は2006年度平均、アメリカ、カナダは2008年12月、イギリスは2008年第4四半期、フランスは2008年12月、ドイツは2008年10月

(注)本資料は、平成22年4月26日付け「第3回雇用戦略対話」配布資料から抜粋。

雇用者の内訳と雇用保険の適用関係(試算)

	20'雇用者の内訳	
雇用者数	5,539万人	
会社の役員	379万人	適用除外
65歳以上の者(注)	134万人	適用除外
公務員	349万人	適用除外
雇用保険被保険者	3,777万人	
週20時間以上の雇用者	364万人	
雇用期間6か月以上1年未満	109万人	
雇用期間6か月未満	255万人	適用除外
週20時間未満の雇用者	413万人	適用除外
昼間学生アルバイト	123万人	適用除外

※ 第52回労働政策審議会職業安定分科会雇用保険部会(平成21年12月9日)配付資料3より